

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
放送芸術科											
映像リテラシーB1											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	石川祐貴			実務 経験	有	職種	放送業務				
授業概要											
<p>カメラ機材、撮影手法を学ぶだけではなく、映像とは何を訴えているのか、伝えようとしているのかを知る事が目的で、放送業界で映像の概念はどんな職種に従事していても必要な知識である。映像を知ることがこれからの作品制作やテレビ番組、映画鑑賞など見る目を養うことに繋がるという事を学習する。</p>											
到達目標											
<p>学生間の共通認識ができること。映像に対する感性を育み、プロになる第一歩の意識を持つこと。社会人になることへの心構えを学び、スキルアップと同時に映像への興味を何段階も上位へ引き上げることを目標とする。他授業、特に実習授業にカメラ基礎で学んだ知識が生かせることを目標とする。</p>											
授業方法											
<p>テキストを毎回配布し、重要ポイントが空欄になっている為、テキストに書き込み、映像の視聴を交えながらプロの感性を理解する授業展開をする。</p>											
成績評価方法											
<p>学期末に試験を行います。成績は試験結果と出席率の総合評価。積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。</p>											
履修上の注意											
<p>キャリア形成の観点から、授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。遅刻や欠席は認めない。授業に出席するだけでなく、社会への移行を前提とした受講マナーで授業に参加することを求める。ただし、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。</p>											
教科書教材											
<p>資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。</p>											
回数	授業計画										
第1回	カメラの基礎とは										
第2回	～第3回カメラワークについて										
第4回	～第5回スタジオワークとは										

映像リテラシーB1

第6回	～第7回ロケーション撮影とは
第8回	撮影準備について
第9回	イマジナリーラインとは
第10回	カメラ設定とは
第11回	中継業務とは
第12回	映像ケーブルの種類
第13回	特殊機材
第14回	ドラマ撮影手法
第15回	構図の基本